



職員 甲村 聡

自然資源を活用 したまちづくりは

世界ジオパークの 情報発信は

質問

世界ジオパークの認定後の情報発信、ガイド養成と受入体制の確立について伺う。

市長答弁

ジオパークの情報発信については、マスコミやホームページのほか、大学での世界ジオパーク展の開催、企業等からの取材などを通じて情報発信に努めている。今後もテレビ番組、旅行雑誌、旅行社に向けて、より一層の情報発信

の強化に努めていきたい。

ガイド養成については、現地でのガイド養成講座を実施し、ジオパークガイドとしての新規登録者の確保に努めており、当面の受入れとして、糸魚川市観光協会のボランティアガイドを中心にガイドをお願いしている。

受入体制については、市と観光協会が中心となり、お客様への見学コースや宿泊案内の体制づくりを行っていく考えである。

医師確保対策の推進は

質問

医師確保対策の推進及び市民健康づくり事業の推進について伺う。

市長答弁

医師確保対策については、富山大学、新潟大学、厚生連をはじめ、地元医師会との一層の連携強化を図り、医師の確保に努めている。

市民健康づくり事業の推進については、現在8か所で実施している地区運動教室を、



地区で実施している運動教室

年度内に新たに4か所追加し、人材の育成とともに、保健・栄養指導を一体とした健康づくり事業を進めている。



職員 伊藤 文博

北陸新幹線開業に向けた 駅周辺のまちづくりは

駅舎等の簡易設計から 基本設計に至るまでの 協議経過は

質問

駅舎と周辺まちづくりの設計内容について、簡易設計から基本設計に至るまでの協議

市長答弁

駅舎等の設計の協議経過については、糸魚川駅周辺整備は、市議会港湾交通対策特別委員会や駅周辺整備に関する団体と協議を進め、平成

経過と、今後の方針について伺う。

19年12月に北口駅前広場の拡張及び橋上駅舎整備の方針を決定した。

自由通路と橋上駅舎の基本設計について、本年4月にJR西日本コンサルタンツ(株)から示された当初整備案の概算事業費が大変高額であったことから、工事を委託するJR

西日本に見直し案の提示を求め、委託する部分の概算事業費が34億円、その他鉄道・運輸機構に委託する新幹線駅舎内の自由通路整備に約4億円、北口駅前の修景整備に約1億円など、約40億円が提示された。

設計については、自由通路

はほぼ当初の計画案どおり、橋上駅舎は一部を自由通路の階段の上に設置する半橋上駅舎とする見直し案が提示された。

今後は、補助採択の可能性や、財政面への影響等も踏まえつつ検討を進めていく。

世界ジオパークの ブランドを利用した 交流人口拡大は

質問

交流人口拡大における糸魚

川市、商工会議所(商工会)、観光協会、民間各団体・個人、地域社会の役割について伺う。

市長答弁

各団体等の役割については、各団体や地域と密接な協議を行う中で役割分担し、交流人口の拡大につなげていきたい。

《その他質問項目》

・教育現場のICT化